

BIOGRAPHY

“Ken’s Trio”

2005年にベーシスト金子健リーダーの”Ken’s Trio”として1st CD『I Like It!』Ken's Trio+1(WNR)を発売。以降、計4枚のアルバムを発表し、全国ツアーやジャズ・フェスティバル等で大好評を得る。2019年には、若手俊英ピアニスト・魚返明未、いまや不動の人気を誇るドラマー・今泉総之輔を迎え、ジャズ・スタンダードを中心に、ゴスペルからコンテンポラリーまで様々な楽曲を独自のアレンジで演奏し、Groovyかつ繊細なサウンドが人気を博している。最新アルバムは、2021年9月リリース『Silver Lining』Ken's Trio + One (BFR)。CDおよびLPレコード発売中。

.....

金子 健 (Ken Kaneko) -Bass-

1964年、東京生まれ。

国立音楽大学卒業後演奏活動をはじめ、同時に高校の音楽講師も6年間つとめる。コントラバスを松野茂（国立音楽大学）、永島義男（東京藝術大学）両氏に師事ジャズ・ベースを池田芳夫氏に師事する。

1993年、岡安芳明(g)『Midnight Groove』（キングレコード）に参加後、山本剛(p)、大隅寿男(ds)、阿川泰子(vo)等、多くのミュージシャンと共に演。参加したアルバムも多数。2005年には、自己のリーダー作『I Like It!』Ken's Trio+1(WNR)を、つづく2006年には2nd CD『The Chant』Ken's Trio(WNR)発表。2009年8月に3rd アルバム『Tripersion』Ken's Trio(WNR)をリリース。また、2007年以降は山下洋輔(p)Special Big Band、寺井尚子(vln)カルテット、矢野沙織(as)カルテット等のツアーやレコーディングにも参加している。

2010年5月には、ベニー・グリーン(p)、井上智(g)とのリーダーユニット「KBS TRIO」のアルバム『What Am I Here For』も発売され、スイングジャーナル誌「ゴールドディスク」を受賞。2012年にはKBS Trio 2nd CD『RESONANCE』、2015年3rd CD『Delight』も発売された。

演奏活動とともに、2006年から国立音楽大学講師も務め後進の指導にもあたっている。

魚返 明未 (Ami Ogaeri) -Piano-

1991年東京都生まれ。4歳からピアノを始める。

高校入学の際にモダンジャズ研究部に入部し、ジャズピアノに転向。2015年7月、ミニアルバム「Steep Slope」をタワーレコード限定リリース。2016年8月、ファゴット奏者岡崎耕治氏のアルバムにて自作曲「二つの小品」を発表。2017年3月に東京芸術大学音楽学部作曲科を卒業。2018年10月、初のフルアルバム「はしごを抱きしめる」をリリース。好評発売中。2018年10月公開の映画「栞」(監督:榎原佑佑)の音楽を担当。現在、魚返明未トリオ(楠井五月b石若駿ds)、井上銘gtグループ、.push(ドットブッシュ)など様々なバンドでライブ活動を展開している。これまでにクラシックピアノを佐藤恵美氏、作曲を山口博史、森垣桂一、鈴木輝昭各氏に師事。

今泉 総之輔 (Sonosuke Imaizumi) -Drums-

青森十和田生まれ。

三沢基地のまわりでSKATE,HIP HOP の影響受け育つ。河口恭吾、大友康平等のサポート。2009年quasimodeに加入。BLUE NOTEからのオリジナルアルバム8枚。また日本屈指のヒップホップグループBLACK SMOKER RECORDSからも音源をリリース、EL NINO,BLACK OPERA 出演。

ILMARI(RIP SLYME) 率いるTHE BEATMOSSメンバー。JAZZ界の重鎮 土岐英史、竹内直から鬼才スガダイローテリオ やウィリアムス浩子まで、伝統からの現代を模索する音楽家。

須長和広とのCOSMIC TEMPLE(ex,quasimode)作曲 DTM からRAP担当。